

進化する 地域コミュニティ

地域福祉センターは、どなたでも利用できる、地域活動の拠点となる施設です。センターでの活動は日々進化しており、管理運営を行っている「ふれあいのまちづくり協議会(ふれまち)」のイベントをはじめ、時代に合わせた様々な行事が開催されています!

「ふれまち」って?

自治会や婦人会などの地域団体に構成された団体で、コミュニティづくりを基本に、様々な交流活動やイベントを実施しています。



居場所づくり

子育て世代の仲間づくりや、日々を彩る楽しい行事が開催されています。

子育てサークル



健康音楽体操



NEW オープン

西灘地域福祉センターが誕生しました。

灘南部自治会館の1階を地域福祉センターとしてオープンしました。駅近くの便利な場所に地域活動の拠点がまた1つ増えました。

令和3年 4月~

行ってみようかな 利用してみようかな と思ったら...



地域に開かれた交流拠点として、文化祭やもちつき等の季節のイベントも開催しています。

詳細は イベントカレンダーへ

福祉活動や交流活動など、地域のために利用してみませんか?

お問い合わせはお近くの 地域福祉センターへ

区HPを チェック!



灘区にこの人あり

今月の

なだびと

第9回 廣瀬美帆さん(イラストレーター・絵本作家)

防災とみんなを繋げる懸け橋に

区内で活躍する「なだびと」を紹介します。第9回は、阪神・淡路大震災の経験をもとに、当時の灘区での出来事を描いた絵本を作成した廣瀬さんにお話を伺いました。



— この絵本に対する想いについて教えてください。

「震災のことを知りたいが、聞くに聞けない」というお母さん方の声が印象的でした。震災を経験していない人が記録を知るだけでは自分事にはなりづらいため、「防災とみんなを繋げる懸け橋」のようになればと思い、絵本を作成しました。防災だからといって身構えることなく、読んだあとに「1つでも備蓄食材を買っておこう」等備えを考えるきっかけになればと願っています。

— 「つなぎてさん」の力を借りているとのことですが?

自分が絵本に込めた想いを、いろんな方に繋いでくれる人(=つなぎてさん)にこの本を託させていただきました。つなぎてさんが多くの親子に読み聞かせを行ってくださることで、当時のことや防災についてお話することができます。私の手元を離れても想いが届けられていくことが嬉しく、有難く思います。



— 今後試みたい活動はありますか?

灘区は、防災に工夫を凝らしている方がたくさんいる街だと思います。読み聞かせの場を通じて知り合いが増え、経験や知恵がシェアされていくことも防災の1つだと考えています。また、あらゆる世代の方に興味を抱いてもらうために、いつかバスのラッピングデザインをしてみたいです。「このかわいらしいイラストはなんだろう」と防災への入り口を広げていき、さらには灘区の魅力を伝えられるように、そんな作品をこれからも作り続けていきたいです。